

小山田小

2026年9月30日

第6号

町田市立小山田小学校

校長 悴田 隆良

042(797)1824

<http://www.machida-tky.jp/e-oyamada/>

やる？ やらない？

校長 悴田 隆良

今回は9月1日の2学期始業式で子供たちにお話ししたことを書いてみます。

夏休みが終わり、2学期の初日の朝、体育館に集まった子供たちに校長から話をしました。はじめに1学期の終業式で伝えた「私が夏休みにやりたい3つのこと」の結果報告をしました。①校長室の書類整理 ②自宅の部屋に棚を作る ③お昼ご飯を作るこの3つを全部実行できたと話しました。続いて、それらをやりながら考えたことを話しました。それは…私たちが生活していく中で物事は大きく言ったら2つに分けられるのではないかと。一つは「自分がやりたいこと」、もう一つが「やりたくないこと」。さらに考えると、「やりたいこと」の中には「やりたいけど、やってはいけないこと」があって、「自分がやりたくないこと」の中には「やりたくないけど、やらねばならないこと」や「やりたくないけど、やっておいたほうがよいこと」もある。学校生活では、もしかしたら「やりたくないこと」のほうが多いかもしれないけれど、いろいろなことにチャレンジしてほしいし、「やりたいこと」もいっぱい考えて実現できるようにがんばろう…少し極端な話の内容だと思いますが、毎日の様々な物事に対して、子供たちが自分で考えて行動していくきっかけになればと思います。そして教育活動のあらゆる場面で物事に対する判断力や実行力を子供たちに育てていきたいと思っています。

加えて、子供たちが動き出そうとする時に周囲の大人がどのようにサポートしていくのが大切だと考えます。子供が何かをやろうとしている時、やろうかどうしようか迷っている時に、それがその子にとってプラスだと考えれば「そっと背中を押してあげる」逆にマイナスだと考えるなら「ドンッと前に立ちはだかって止める」その経験の積み重ねが子供たち自身の成長につながるとともに、これから直面する物事を自分で適切に判断するための指針になっていくと思います。その場の状況や現状に至るまでの背景はケースバイケースなので、そこに明確な正解がないこともあるでしょう。だから子供たちは迷うし、私たちも悩むのだと思います。子供をよく見て、一緒に考え、互いに理解した上で進むか立ち止まるかを決断する。進むと決めれば、常に寄り添いながら見守り続ける。立ち止まるならば、また一緒に別の何かを考え直す。子供たちの「やりたいこと」を支えていくために、私たちの「やらねばならないこと」は限りなく続きます。

